

令和 8 年

新年御挨拶

塩原カントリークラブ
理事長 渡邊 勇雄



より良いクラブライフを目指す

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては良いお年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は会員の皆様のご理解ご協力により、6 月に栃木県アマチュア選手権予選会、9 月の栃木県知事盃一般女子の部・ミッドクイーンの部決勝大会を無事開催することができました。ご協力有難うございました。

昨年 10 月に矢板カントリークラブで開催された栃木県クラブ対抗競技において、当クラブ男子チームが見事に優勝を達成し、クラブとしても大変誇らしい結果となりました。

今年 5 月には、関東倶楽部対抗男子予選会の開催が決定しました。こちらもお協力をお願い致します。

クラブ競技におきましても皆様のご協力により、シニア選手権の参加人数も増え、グランドシニア選手権も参加者が増えつつあります。会員の皆様、奮ってのご参加をお願い致します。

コース整備につきましては、コース委員会を中心となりボランティア活動を継続しており、各分科委員会も皆様の声を反映し、より良いクラブライフを継続出来るよう尽力しているところでございます。会員の皆様におかれましてはご家族、ご友人をお誘い合わせのうえ、ご来場いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、会員の皆様とご家族のご健康、ご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



古泉名誉理事長が逝去。元旦に。

前理事長で名誉理事長の古泉桂四郎さんが、令和8年元旦に老衰で亡くなった。93歳だった。

古泉さんは元大田原日赤病院長を務めた医師で、2002年に叙勲を受けた。ゴルフと旅行が趣味で、塩原カントリーの古参メンバーで、ハンディキャップ委員長、キャプテンを務めた後、理事長となり、開場50周年を取り仕切った。

旅先でフクロウの彫り物やフィギアを集め、1月6日・7日に大田原市内の斎場で営まれた通夜、告別式には、親族がそれをゆかりの品として配り、参列者は故人の温厚な人柄を忍んでいた。



男女の更衣室にクーラー完備。林地の雑草対策にも万全を期す。

近年の気温上昇で更衣室の温度が、毎年、想定を超えて異常な上昇を見せている。このため、今年は男女更衣室に大型クーラーを導入、猛暑対策に万全を期すことになった。快適な気分のままスタートホールに向かうことが出来るようになります。ご期待下さい。

また、コース整備の面でも雑草対策に万全を期すため、ラフの外側の松林などいわゆる林地への薬剤散布も実施する計画でおります。

レストランからのお知らせ

12月16日からランチが冬メニューに変わりました。
一段と寒くなってきましたので、冬ランチで温まって後半のプレーも頑張ってください！



スンドゥブチゲ



味噌チャーシュー麺



鍋焼きうどん 又は そば



松花堂弁当

上記以外のメニューもございます。(内容は変わる可能性もございます。予めご了承下さいませ)



新企画

塩原・11湯の四季①

高原 泉

1969(昭和44)年4月14日、華やかなスモークボールがあざやかな弧を描いた。「塩原にもゴルフ場を」。起工から3年、温泉郷の旅館・ホテルの社長らの思いがかなった。塩原カントリークラブは温泉郷とともに昭和、平成を経て半世紀を超え令和の時代にある。塩原には11の湯がある。箒川の下流に向かって、新湯(あらゆ)、元湯、中塩原、上塩原、福渡(ふくわた)、塩釜、畑下(はたした)、門前、古町、塩原、大網である。Web会報で塩原11湯の昭和をたどってみたい。

【睦月(むつき)】

湯治場の正月～心をつなぐとき静かに流れ～

蓬萊橋から門前の方に目をやる。「七弦の滝」が箒川に流れ落ちている。凍らずに正月を迎えた。門前に入ると、左側に「妙運寺」の山門。鎌倉末期の創建といわれる。源平の争乱で平家が敗れた後に、平清盛の娘がこの地に逃れ、出家して隠遁した。その草庵に由来する臨済宗妙心寺派の禅寺。

山門脇のお地藏さんは雪の布団を被ってお休み中だ。その脇の竜頭鉄栓からきれいな水が流れ落ちている。水源は寺裏手の平井沢で、昭和32年まで共同水道として使われていた。しばらく下流へ歩くと、今は遊ぶ歩(ゆっぱ)の里がある。

元旦の早朝。山々は深い眠りの底にあり。谷を渡る風だけが新年の訪れを密やかに告げている。正月の湯治場は人の声より風の音の方が良く通る。箒川の溪谷には薄く雪が積もり、岩肌で凍ったしずくが、朝日を受けてかすかな金色に輝く。

宿々の玄関先には松飾りが立ち、ガラス戸の向こうからかすかにイオウの匂いが流れてくる。夜明け前、露天の湯へ向う。脱衣所の戸を明けると湯の気が肩に触れた。遠い昔から山の底から湧く湯の力である。外気に触れた頬は縮み、湯に包まれた体だけがゆるんでゆく。しばらくして、川向こうで一本、松の枝に積もった雪が落ちる音がした。

朝餉の支度が始まるのだろうか。宿の奥から味噌を暖める香が漂ってくる。湯治場の正月は飾り立てた賑やかさより、静かな湯の音と、雪の白さの中で、そっと新年を迎える。

元旦の朝。障子越しの光は淡く、こたつの上には湯治宿のおせちが並んだ。黒豆に昆布巻き、少々の卵焼き、それに炭火であぶった川魚だ。共同台所では湯治客が大根を切り、昔ながらの火鉢に鉄鍋を掛けている。木ベラで味噌をすくって入れるたびに懐かしい匂いが広がる

トテ、トテ…。トテ馬車の馬の蹄の音がだんだん大きくなる。1886(明治19)年、鉄道の西那須野駅が開業して以来、14キロ離れた温泉郷を結ぶ乗り合い馬車だ。「トテ」とは馬車の警笛のラッパの音とも言われる。今では秋の観光シーズンに遊覧馬車として温泉郷だけで運行している。



新しい綿入れ半天を着た坊主頭のいたずらっ子や晴れ着に、かんざしを刺してもらった女の子が、おせちの味に飽きて外に出始めた。お年玉を見せ合っている。「お前、少ないな」「お前が多すぎる」と口さがない。漬(はな)をたらした子がいるのは愛嬌だ。誰かが「早く明日が来ないかな」と大声を上げた。

2日は初荷。マルに「通」が書かれた日本通運のトラックが「初荷」と大書したのぼり旗を何本も立てて温泉街を登ってくる。荷台の荷物は申し訳程度だが、祝い事だからかまわない。ネジリ鉢巻きのお兄さんが箱から沿道の老若男女に向かってミカンを播いて通り過ぎる。今年は何個取れるか。年明け早々の楽しみだった。





【中里鉄也の目・Q&A】

Q：ゴルフはほぼ初心者です。バンカーから上手く脱出できません。
上手に出すコツを教えてください。

A：バンカーショットが苦手な方、結構多いですね。
基本的なコツをお教えします！

①クラブの選択とフェースの開き方

- *一般的にはサンドウェッジを使いますが、短い距離ならアプローチウェッジを使うプロもいます。
- *フェースを少し開いて構えることで、クラブのバンス(ソールの出っ張り)を活かし、砂の上を滑らせやすくします。

② スタンスとボールの位置

- *スタンスはオープン(目標に対して左向き)に構え、ボールの位置は左足寄りに置きます。
- *少し左足体重で構え、スイング中もその体重配分をキープする意識を持つと、ボールの手前にヘッドを落としやすくなります。

③ スイングの意識

- *ボールを打つのではなく、ボールの1～2個手前の砂を打つイメージを持ちます。
- *手首のコック(角度)を使い、ヘッドに角度を付けてインパクトすることで、砂を深く削り取ることができます。
- *フォロー(打ち終わり)ではヘッドを低く出す意識を持つことも大切です。
- *ヘッドアップ(顔が早く上がること)はNGです。球を上げるのはクラブのロフト角(フェースの傾き)なので、最後までボールがあった場所を見てみましょう。

④ 振り幅

- *通常のアプローチよりも少し大きめの振り幅で、しっかり砂を爆発させるだけの力を加えます。

●砂が硬いバンカーの場合●

- *インパクトの瞬間にさらにフェースを開いて、ボールをすくい上げるイメージで打つ
- *または、膝を曲げて構え、いつもより意識的にダフらせる(ボールの手前を叩く)という方法も効果的です。

これらの基本を試してみて、まずは「一発で脱出する」ことを目標に練習してみてください！



編集後記

新しい年が明けた。国際情勢は厳しく、とりわけ日中関係はささくれ立ったままだ。我が国初の女性首相は、何でも自分がやらなくては気の済まない性分だという人もいる。裸の女王にならないければいいが。我らがコースは、明るい陽光の中にある。塩原温泉街と寄り添って半世紀を5年も過ぎた。これを機にしばらくその11の湯の原風景をたどってみる。湯巡りと合わせてプレーを楽しみたい人の話のタネにでもなれば……。

井上安正

